



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
コード番号 3928 URL <https://mynet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 農
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 拓也 TEL 03-6864-4261
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,777	△9.9	74	△25.4	66	△34.3	129	29.9
2022年12月期第2四半期	5,299	—	99	—	101	—	99	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 145百万円 (34.0%) 2022年12月期第2四半期 108百万円 (△67.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	15.31	—
2022年12月期第2四半期	11.54	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,424	1,139	33.1
2022年12月期	4,360	995	22.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,134百万円 2022年12月期 989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	6.00	—	0.00	6.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期（累計）	9,400	△10.8	110	—	85	—	100	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規一社 除外1社 （社名）株式会社滋賀レイクスターズ

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	8,710,334株	2022年12月期	8,710,334株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	281,621株	2022年12月期	271,621株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	8,429,829株	2022年12月期2Q	8,613,355株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域である国内ゲーム市場は2兆円の大台に到達し、中でもオンラインプラットフォームにおけるゲームコンテンツ市場は1.6兆円を超える規模を維持し、国内ゲーム市場において中心的な存在となっております(ファミ通ゲーム白書2022より)。

このような市場環境のもと、当社グループは主幹事業としておりましたゲームの買取運営に加え、今後更なる売上成長を目指し、新領域である運営受託・部分受託・新規開発受託への事業拡大を行い、ターゲット市場を拡張しております。

また、新規事業としてファンタジースポーツ領域に注力しています。ファンタジースポーツとは、実在する好きな選手を集めて空想のチームを作り、実際の試合における選手の成績に基づいてポイント等を競うゲームで、米国ではプロスポーツの新たな楽しみ方として普及・定着し、その市場は9,000億円にのぼります。日本におけるファンタジースポーツ市場において、リーグ公認のもと運営を通じた収益をスポーツに還元するスポーツエコシステムを構築し、事業の拡大を目指しております。

当第2四半期において、ゲーム事業では「大戦乱!!三国志バトル」と「レジェンド オブ モンスターズ」がサービスリリースから11周年を迎えました。今後も累計80タイトル以上のゲーム運営から得た知見をゲームタイトルの長期運営に活かしてまいります。なお、2023年6月末時点での運営タイトル数は25本、運営期間が10年を超えるタイトルは累計で11本となりました。そして、7月においてはプロスポーツライセンスを使用したスポーツゲームに実績のあるOneSports NEXT社を新たに当社グループに迎え入れ、スポーツコンテンツビジネスに精通している経験豊富なメンバーがグループジョインしました。今後は新規スポーツゲームのリリースやWeb3ゲーム運営のほか、当社がこれまで開発運営をしてきましたファンタジースポーツにおける他競技への横展開などスポーツジャンルにおける開発ラインを強化してまいります。

ファンタジースポーツ事業では、Bリーグ2022-23シーズン開幕に合わせてリリースしましたファンタジースポーツサービス「B.LEAGUE#LIVE2022」は、さまざまな集客施策により新規ユーザーの獲得と定着が進み、着実に右肩上がりの成長を遂げ、主要KPIにつきましては計画を上回る成果を残すことができました。その中でもログイン継続率は米国大手ファンタジー事業者のログイン率や一般的なゲームログイン率を大きく上回り当初計画を超える水準で推移しました。今後は複数競技への展開も含め、開発と運営に集中し準備を進行しております。そして、当社が運営する日本最大級のバスケットボールメディア「BASKETCOUNT」からの情報発信を組み合わせ、メディアとゲームの両面から生み出すシナジー効果を用いて、国内におけるバスケットボールのファン・コミュニティの熱量を高め、ファンタジースポーツをさらに盛り上げてまいります。引き続き、国内のファンタジースポーツ市場の形成をリードするとともに、当社における第二の柱となる事業として確立を目指してまいります。

全社的な取り組みとしましては、コスト構造を改善することを目的に人員合理化を実施し、固定費の最適化を行いました。今後は、持続的な利益体質への転換に向けゲーム市場での事業拡大およびファンタジースポーツの事業確立を目指し売上の再成長を推進してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,777,004千円(前年同期比9.9%減)、営業利益は74,206千円(前年同期比25.4%減)、経常利益は66,715千円(前年同期比34.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129,071千円(前年同期比29.9%増)となっております。

なお、当社グループはゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結累計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて935,786千円減少し、3,424,240千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比403,564千円の減少)などがあったことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結累計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,079,154千円減少し、2,285,015千円となりました。これは主に、長期借入金の減少(前連結会計年度末比267,200千円の減少)などがあったことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結累計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて143,368千円増加し、1,139,225千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加(前連結会計年度末比129,066千円の増加)などがあったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて369,956千円減少の1,573,532千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、13,816千円となりました(前年同期は27,490千円の支出)。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益171,031千円であり、主な支出要因は売上債権の増減額383,417千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、96,271千円となりました(前年同期は357,661千円の支出)。主な収入要因は、投資有価証券の売却による収入12,000千円であり、主な支出要因は連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出108,241千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、287,500千円となりました(前年同期は277,860千円の支出)。主な収入要因は、短期借入金の純増減額37,500千円であり、主な支出要因は社債の償還による支出245,000千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年8月14日公表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」の開示をご覧ください。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,096	1,573,532
売掛金及び契約資産	1,187,360	1,022,702
未収入金	13,699	3,936
未収還付法人税等	27,266	—
その他	416,194	163,988
貸倒引当金	△5,942	△3,700
流動資産合計	3,615,673	2,760,458
固定資産		
有形固定資産	53,066	47,989
無形固定資産		
のれん	31,000	25,000
その他	57,480	45,089
無形固定資産合計	88,480	70,089
投資その他の資産		
投資有価証券	215,027	229,979
敷金	106,131	101,430
長期前払費用	265,665	210,514
繰延税金資産	15,432	3,628
その他	550	151
投資その他の資産合計	602,806	545,702
固定資産合計	744,353	663,781
資産合計	4,360,027	3,424,240

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	351,758	198,943
未払金	279,107	120,298
契約負債	274,717	123,529
短期借入金	—	37,500
1年内返済予定の長期借入金	165,999	160,000
1年内償還予定の社債	490,000	440,000
未払法人税等	7,880	3,730
賞与引当金	73,862	69,069
その他	129,859	162,492
流動負債合計	1,773,182	1,315,561
固定負債		
長期借入金	662,200	395,000
社債	770,000	565,000
資産除去債務	25,339	9,454
長期末払金	127,652	—
その他	5,796	—
固定負債合計	1,590,987	969,454
負債合計	3,364,169	2,285,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,631	49,631
資本剰余金	1,391,688	1,390,438
利益剰余金	△366,083	△237,017
自己株式	△100,328	△100,328
株主資本合計	974,907	1,102,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,074	31,877
その他の包括利益累計額合計	15,074	31,877
新株予約権	5,875	4,624
純資産合計	995,857	1,139,225
負債純資産合計	4,360,027	3,424,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,299,878	4,777,004
売上原価	3,205,177	2,999,833
売上総利益	2,094,700	1,777,170
販売費及び一般管理費	1,995,207	1,702,964
営業利益	99,493	74,206
営業外収益		
受取利息	17	408
為替差益	4,779	5,948
法人税等還付加算金	356	1,020
助成金収入	4,594	2,772
その他	1,228	1,128
営業外収益合計	10,974	11,276
営業外費用		
支払利息	6,026	5,542
社債利息	2,398	2,811
投資事業組合運用損	70	10,156
その他	460	258
営業外費用合計	8,954	18,767
経常利益	101,513	66,715
特別利益		
関係会社株式売却益	—	139,604
投資有価証券売却益	—	12,000
新株予約権戻入益	—	1,251
特別利益合計	—	152,855
特別損失		
固定資産除却損	133	—
商品評価損	1,242	—
特別退職金	—	48,539
特別損失合計	1,376	48,539
税金等調整前四半期純利益	100,137	171,031
法人税、住民税及び事業税	4,096	32,008
法人税等調整額	△3,326	9,950
法人税等合計	769	41,959
四半期純利益	99,367	129,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,367	129,071

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	99,367	129,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,518	16,803
その他の包括利益合計	9,518	16,803
四半期包括利益	108,885	145,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,885	145,874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,137	171,031
減価償却費	59,417	65,935
のれん償却額	41,168	6,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,268	—
受取利息及び受取配当金	△17	△408
支払利息及び社債利息	8,425	8,354
為替差損益(△は益)	△11,432	△5,948
投資事業組合運用損益(△は益)	70	10,156
固定資産除却損	133	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△139,604
売上債権の増減額(△は増加)	△52,637	△383,417
未収入金の増減額(△は増加)	34,066	△8,164
仕入債務の増減額(△は減少)	37,178	△119,397
未払金の増減額(△は減少)	△74,502	△47,334
賞与引当金の増減額(△は減少)	72,984	△4,793
その他	△292,517	449,935
小計	△83,795	2,348
利息及び配当金の受取額	17	409
利息の支払額	△7,507	△8,940
法人税等の支払額	△84,261	△7,390
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	148,056	27,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,490	13,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,400	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△108,241
有形固定資産の取得による支出	△6,559	—
無形固定資産の取得による支出	△19,801	—
敷金及び保証金の回収による収入	100	—
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△30
長期前払費用の取得による支出	△330,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	12,000
その他	29	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357,661	△96,271
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	177,760	37,500
長期借入金の返済による支出	△105,578	△80,000
社債の償還による支出	△200,000	△245,000
非支配株主からの払込みによる収入	1,250	—
配当金の支払額	△51,317	—
自己株式の取得による支出	△99,975	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,860	△287,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	61	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△662,951	△369,956
現金及び現金同等物の期首残高	3,478,945	1,943,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,815,993	1,573,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の100%子会社である株式会社滋賀レイクスターズの当社が保有する全株式を、株式会社サン・クロレラの代表取締役社長である中山太氏に譲渡いたしました。これにより、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。